

県スポ協プレゼント ～今、注目の選手たち～ プロスノーボーダー **岩渕 麗楽さん**

2025年6月23日、「県スポーツ協会表彰式」の授賞式に出席するため、プロスノーボーダーの岩渕麗楽さんが来盛。2024-2025シーズンを振り返っての想いや、4歳から始めたスノーボードの魅力、今後の目標などについて伺いました。

Profile

2001年12月14日生まれ、岩手県一関市出身。
4歳からスノーボードを始め、13歳でプロテストに合格。
2017年から日本代表強化指定選手に選出され、同年12月にビッグエアでワールドカップ初優勝。2018年平昌五輪、2022年北京五輪で入賞するほか、ワールドカップ、XGAMESなど数々の世界大会で優勝や上位入賞を果たしている。エアの高さが持ち味で、日本女子スノーボード界をけん引する存在。

2024-2025シーズンの主な大会成績

ワールドカップ ビッグエア (Kreischberg/ オーストリア) 2位
ワールドカップ ビッグエア (Chur/ スイス) 2位
世界選手権大会 ビッグエア (Engadin/ スイス) 2位
世界選手権大会 スロープスタイル (Engadin/ スイス) 3位
X GAMES ビッグエア (Aspen/ アメリカ) 2位



いわぶち
岩渕 麗樂 選手

Q 岩渕さんにとって、2024-2025はどんなシーズンでしたか？

A 例年に比べて出場する大会の数が多く、本当に目まぐるしいスケジュールだったので、メンタルコントロールが大変でした。ずっとプレッシャーを感じたままの状態で、気の抜きどころもなかなか見つけられなくて。

Q ふだんはどんな方法で息抜きをしていますか？

A 本を読むのが好きなので、遠征のたびに違う本を持って行って読んだりしていますね。あとは、コーチとコミュニケーションをとりながら、大会へのプレッシャーや不安と向き合うことも大事。コーチや周りの方々には、スノーボードの技術的な面だけじゃなく、モチベーションの維持といったメンタル面でもサポートしていただけたので、ありがたかったです。

Q 4歳からスノーボードを始めて、20年近く経った今はプロとして活躍していますが、スノーボードの魅力はどこにあると思いますか？

A 子どもの頃から飛ぶことが好きで（笑）、スピードを出して肌で風を感じるのもすごい好きだったので、そういう「好きだな、楽しいな」と思うところは今も変わりません。一方で、成長するにつれて環境や競技生活のスタイルが変わり、今はより高い壁に挑戦し続けているので大変。でもそのぶん、達成感も比べものにならないくらい大きいなと思います。

Q 今後の目標や、重点的に頑張っていきたいことがあれば教えてください。

A やっぱり1番の大きな目標は、オリンピックでメダルを取ること。これまで4位でメダルを逃しているので、次のオリンピック（2026ミラノ）はメダルを持って帰りたいです。今はそれに向けて、自分の弱いところにプレッシャーを当てる練習方法に取り組んでいます。

普段の練習から本番と同じようなプレッシャーをかけ続けることで、本番でそれほどストレスなく自分との滑りに向き合えるかな、って。

Q 最後に、岩手の子どもたち、スポーツに取り組んでいる県民にメッセージを！

A スノーボードに限らず、スポーツにはいろんなジャンルや競技があって、いくつになっても楽しめるもの。目標を掲げてとことん打ち込むのもいいし、ライフスタイルの一環として、自分が楽しいと思えるペースで長く続けるのも素敵なことだと思います。私は今、世界中を遠征しながら競技に取り組んでいますが、どこにいても皆さんの応援が私の活力になっているので、さらに自分自身を追い込んで、その声援に応えられるような滑りを見せたい。次のオリンピックでは、綺麗な色のメダルを持って帰れるように頑張りたいと思います！

